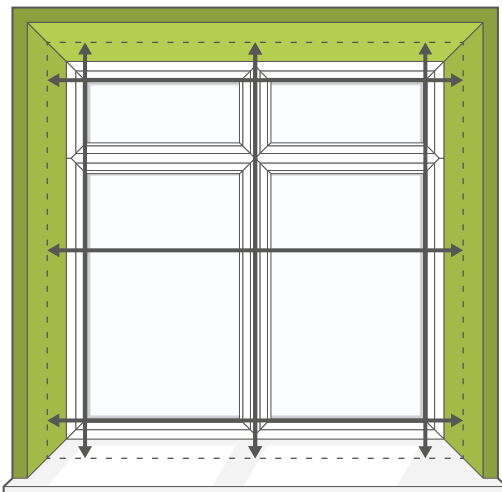


このガイドでは「天井付け」（窓の内側に取り付ける方法）と「正面付け」（窓枠の上の壁に取り付ける方法）での採寸手順を説明しています。ガイドに従って必要寸法を採寸しましょう。

天井付け 窓枠の内側に取り付ける場合



「天井付け※」は窓枠内側におさめる取り付け方法です。本体上部のメカ部分や本体が全て窓枠内に収まるので、すっきりとした印象になるのが特徴です。周囲に家具などを置いた時に干渉しない点もメリットです。

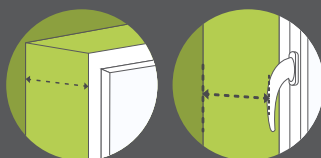
※天井付けは図のように窓枠（木枠）内に取り付ける場合のほか、鴨居内など周辺が壁で覆われた中にシェードを設置する場合を含みます。

[取り付け方ガイド・金具の寸法はこちら](#)

- 窓枠内寸を測ります。縦と横いずれも上の図のように3か所の寸法を測定するとより正確な数値が得られます。数値が異なる場合は、最も小さな数値でご注文下さい。
- お客様がゆとりを差し引く必要はありません。窓枠内にフィットするよう製造部門がご注文いただいた幅の数値から左右0.5cmずつ、合計1cm小さく製作します。
- 金属製メジャーを使用し、ミリ単位までお測り下さい。

アドバイス：

ブラインドを取り付ける窓枠の奥行きを確認しましょう。取っ手など障害物がないかも併せてチェックしてください。



必要な奥行き

プレミアム ウッドブラインド

7.2cm

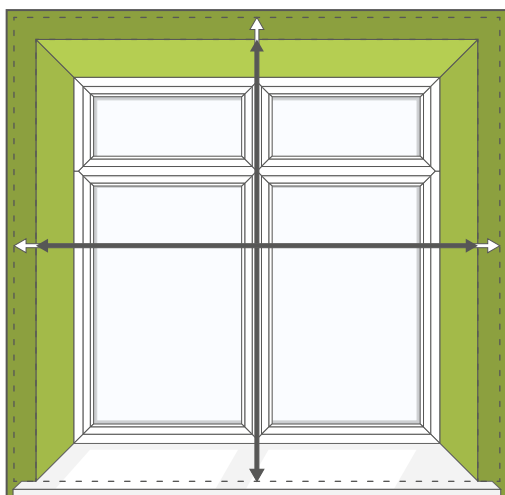
アドバイス：

- 幅が200cmを超える場合は、重量があるため2台に分割することを推奨します。昇降操作をあまりしない場所や羽の角度調整をメインでご使用いただく場合は、200cm以上でも取り付け可能です。
- 2分割する場合、注文幅を2分割し、各ブラインドに+0.2cmすることをおすすめします。※製作する際にマイナスするゆとりを考慮しています。

注意：

- 丈は製品の特性上、指定サイズの-0.5cm～+2.5cm程度の誤差があります。
- カーテンボックス内に取り付けるときは、カーテンボックス内の奥行きが8.5cm以上必要です。8.5cm以上の場合でも、カーテンボックスの形状により取り付けが難しい場合がありますので、ご不安な方はカスタマーサポートまでご相談下さい。

正面付け 窓枠の外側に取り付ける場合



「正面付け※」は窓枠を覆うように取り付ける方法です。窓枠よりもサイズを大きくすることで、隙間からの光漏れが少なく、遮光に優れているのが特徴です。窓が大きく見える点もメリットです。

※正面付けは図のように窓上の壁面に取り付ける場合のほか窓枠正面、鴨居の正面、部屋の天井などに取り付ける場合を含みます。

[取り付け方ガイド・金具の寸法はこちら](#)

- 窓枠外寸を測ります。
- 光漏れを防ぐために、窓枠の上に7cm以上、左右に5cmずつの重なり分量を追加するのがおすすめです。
- 重なり分量は床、建具、障害物などを考慮してお好みの長さをご指定下さい。

アドバイス：

- 幅が200cmを超える場合は、重量があるため2台に分割することを推奨します。（昇降操作をあまりしない場所や羽の角度調整をメインでご使用いただく場合は、200cm以上でも取り付け可能です）。
- カーテンボックス内に取り付けるときは、カーテンボックス内の奥行きが8.5cm以上必要です。8.5cm以上の場合でも、カーテンボックスの形状により取り付けが難しい場合がありますので、ご不安な方はカスタマーサポートまでご相談下さい。

注意：

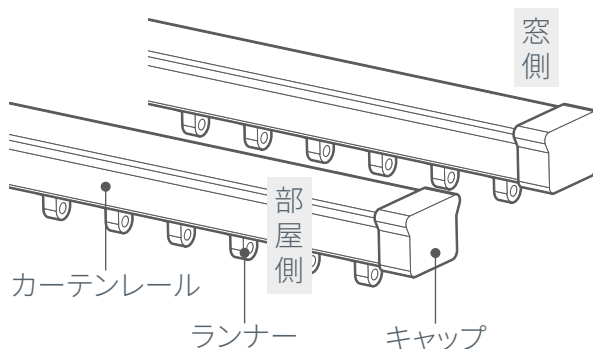
壁面に取り付ける場合

- 窓枠が壁面から突き出している場合、壁と取付け金具の間にスペーサーが必要となりますので別途ご用意下さい。

その他

- 丈は製品の特性上、指定サイズに対して-0.5cm～+2.5cm程度の誤差があります。

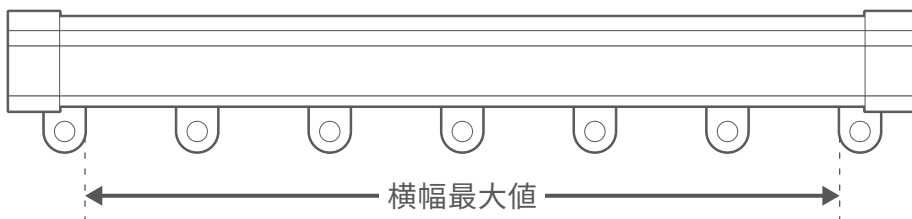
取り付け前に確認



ご注文前にご確認下さい。

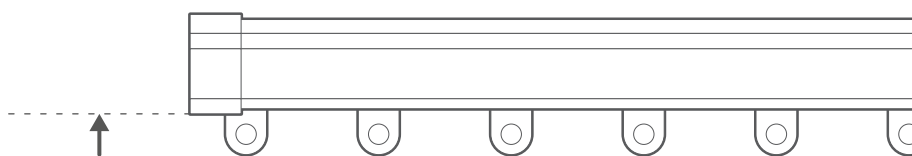
- ・必ずダブルカーテンレールであることをご確認下さい。I型や装飾カーテンレールにはお取り付けできません。
- ・またカーテンレールの耐荷重が10kg以上であることをご確認下さい。

横幅を測る



カーテンレールの固定ランナー以内のサイズを入力してください。

丈を測る



ランナーの上からお好みの高さまで測ります。腰高や出窓の場合は、窓枠下+5~10cmすることをおすすめします。

取り付けるところに障害物等がないかご確認下さい。